

## 働く世代のがん対策「がん患者の就労支援」 産業医と主治医の連携推進

藤田保健衛生大学病院 がん相談支援センター  
トヨタ自動車株式会社 安全健康推進部産業医学グループ

### 0.1. 目的

がん患者の就労支援を行うため、産業医と病院主治医の連携を促進すること。そのために必要な情報の同定とその共有方法を確立すること(効率的な診療情報提供書のひな形を作成すること)

本研究のアウトプット

- ・産業医-病院主治医でがん患者に関する情報共有を行う情報共有書式の作成と運用方法の検討を行うこと

次のステップのアウトプット

- ・がん患者の情報共有書式を愛知県内のがん診療連携拠点病院/愛知県がん拠点病院で運用し、産業医と主治医の連携を愛知県全体で推進させること

### 0.2. 対象患者

以下の条件を満たす者を対象とする

1. がんと診断されている
2. 藤田保健衛生大学病院で現在がん治療を行っている、または過去に行っていたトヨタ自動車株式会社社員の患者
3. 本研究への参加について文書による同意が本人より得られている

### 0.3. 試験デザイン: 探索的研究

### 0.4. 方法

- ・事例検討を通して産業医-主治医間のがん患者の適切な情報共有書式を作成する
- ・適切な情報共有書式の作成については、トヨタ自動車株式会社安全健康推進部産業医学グループ(以降G)と藤田保健衛生大学病院がん相談支援センターで協議を行い決定する
- ・別紙の書式を用いて、以下の事を行う

1. 個人情報の取り扱いに細心の注意を払う。
2. 産業医-病院主治医で別紙の情報共有書式を用いて情報共有を行う(表1参照)
3. 産業医、病院主治医から改善(必要な情報、必要ない情報など)を確認する。その内容について、トヨタ自動車株式会社安全健康推進部産業医学Gと藤田保健衛生大学病院がん相談支援センターで検討を行う。
4. 定期的にトヨタ自動車株式会社安全健康推進部産業医学Gと藤田保健衛生大学病院がん相談支援センターで事例検討会を行い、情報共有書式の改訂を行う
5. 産業医-病院主治医の連携の推進のために、社会に対する啓蒙活動も並行して行う

### 0.5. 問い合わせ先

事務局: 藤田保健衛生大学病院がん相談支援センター